アートセラピーの臨床実践セミナー　3

アルコール依存症のアートセラピー

― その基本的な考え方と留意点―

アルコール依存症者に行う精神療法は、彼らの独特の自我構造と防衛機制を配慮し行わなければならないという点に特徴づけられています。そして、それらの防衛に対処し、安全なやり方で自分自身に向きあい、自己洞察を得ていくための手段として、アートセラピーは非常に有効なメソッドです。

今回は、アルコール依存症においてのアートセラピーはどのようなものであるかということを、事例を挙げながら紹介し、さらにその実際のやり方についてのワークを実際に体験していきたいと思います。そこでは、セッションのテーマの見つけ方、シェアリングの仕方、セラピストの役割等を中心に学んでいきます。

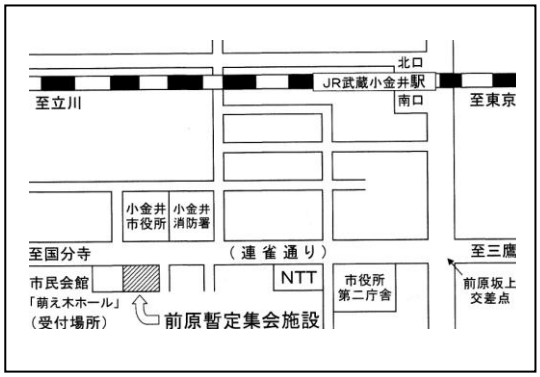
また、参加者同士のネットワーク作りのための話し合いの時間を持ちたいと思います。

すでに臨床現場で絵画療法を行っている人、これから導入を考えている方、関心のある方などの参加をお待ちしています。絵のうまい下手は問いません、奮ってご参加ください。

●講師:　関　則雄（J-CAT-C 代表、長谷川病院アートセラピスト）
　司会:　谷野芙美子（谷野医院院長）

●日　時:　2011年10月9日（日）13:00 ～ 16:45

●会　場:　前原暫定集会施設　B会議室
　（東京都小金井市前原町3－33－27）
　最寄駅:JR中央線武蔵小金井駅南口　徒歩10分



●定員:　40名

●参加費:　4，000 円（会員は3，500 円）

●参加対象:　臨床でアートセラピーを実践している人、導入しようと考えている人、臨床現場で患者さんと接している人
　＊体験ワークがありますので、参加者の方は16色以上のクレヨンをご持参下さい。

●申込方法:　メールにて氏名、所属、非常時連絡先を書いて 1 週間前までにお申込み下さい。折り返し、お振込先等のご連絡をいたします。

一般社団法人　日本クリエイティブ・アーツセラピー・センター
〒185－0033　東京都国分寺市内藤 2-1-21
TEL／FAX　:　042－505－5121　　E-mail　:　arts@carol.ocn.ne.
ホームページ　:　http://www.j-cat-c.com/